

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課
平成18年5月31日

- **需要面**では、大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(3月)
用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数は前年を下回った。(4月)
- **産業面**では、鉱工業生産指数(季節調整済)が電気機械工業等の減により前月を下回った。(3月)
- **雇用面**では、現金給与総額は前年を上回り、所定外労働時間は前年を下回った。(3月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。(4月)

○ 需要面の動き

【個人消費】

大型小売店販売額(3月)は、全店舗計では52億4,430万円となり、前年同月比5.3%減と8か月続いて減少し、店舗調整後も前年同月比0.9%減(全国0.6%減)と42か月連続して減少している。なお、全店舗計の内訳では、百貨店が22億8,210万円(前年同月比1.0%減)、スーパーが29億6,220万円(前年同月比8.4%減)であった。

ホームセンター・家電量販店販売額(3月)は、ホームセンター販売額が17億7,147万円(前年同月比2.4%減)と3か月続いて前年を下回り、家電量販店販売額も15億4,526万円(前年同月比4.9%減)と3か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(4月)は、1,647台(前年同月比1.1%減)と2か月続いて前年を下回った。

【住宅建設】

新設住宅着工戸数(4月)は、321戸(前年同月比21.3%減)と2か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比63.7%減)が大きかった。

【設備投資】

用途別着工建築物工事金額(4月)は、12億4,398万円(前年同月比12.1%増)と4か月ぶりに前年を上回った。用途別では、医療・福祉用(前年同月0)、金融・保険業用(前年同月0)等が前年を上回った。

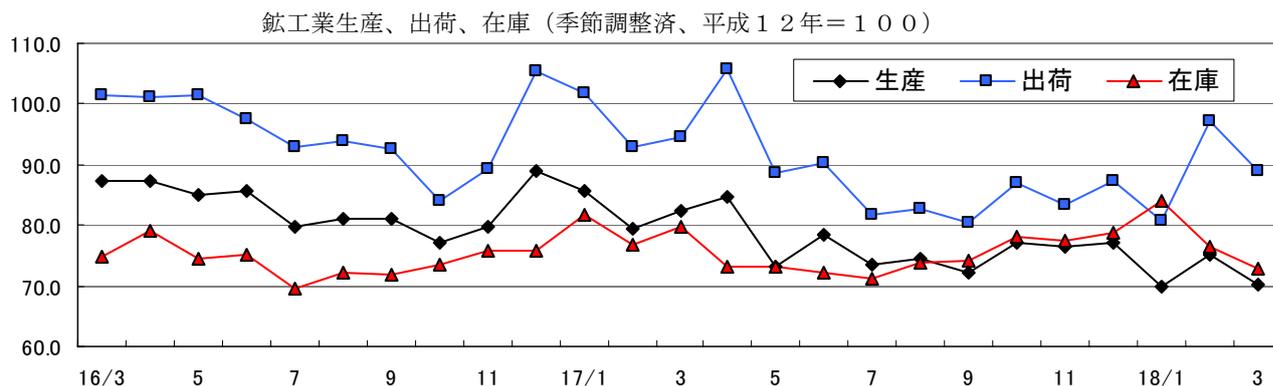
【公共工事】

公共工事請負金額(4月)は、135億700万円(前年同月比15.6%増)と2か月ぶりに前年を上回った。発注者別内訳では、市町村の増(前年同月比62.4%増)が大きな割合を占めた。

○ 産業面の動き

【産業活動】

鉱工業指数(3月)は、生産指数(季節調整済)が70.2となり前月比は6.6%低下した。



内訳を前月比で見ると、電気機械が通信機械器具等の生産減により3.6%の低下、食料品・たばこが4.7%の低下、一般機械が31.6%の低下、繊維が5.7%の上昇となっている。

在庫指数（季節調整済）は72.8と前月比4.8%の低下となった。

【青果物卸売量】

鳥取市場の**青果物卸売量**（4月）は、野菜が1,367 t（前年同月比14.8%減）と6か月続いて前年を下回り、果実も753 t（前年同月比0.7%減）と3か月ぶりに前年を下回った。

鳥取市場の青果物卸売量（4月）のうち**鳥取県産の卸売量**は野菜が321 tで全体に占める割合は23.5%（前年同月差2.4ポイント低下）、果実は36 tで全体に占める割合は4.8%（前年同月差0.6ポイント低下）であった。

【漁獲量】

境港の漁獲量（4月）は、7,146 t（前年同月比4.0%減）と3か月続いて前年を下回った。

【電力】

大口需要電力実績（3月）は、141,590千kWh（前年同月比1.7%増）と4か月続いて前年を上回り、鉱工業は全ての業種で増となり1.4%増加した。

○ 雇用・金融面の動き

【雇用】

新規求人倍率（4月）は、1.24倍（前月差0.08ポイント低下、前年同月差0.12ポイント上昇）であった。なお、新規求人数（4月）は4,142人で前年同月比9.3%の増であった。

有効求人倍率（4月）は、0.80倍（前月差0.03ポイント低下、前年同月差0.03ポイント上昇）と、8年2か月連続で1.0倍を割っている。

【賃金】

現金給与総額（3月）は、256,960円（前年同月比0.8%増）と2か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与（3月）は、254,880円（前年同月比0.7%増）と8か月続いて前年を上回った。

【労働時間】

所定外労働時間（3月）は、9.8時間（前年同月比3.0%減）と2か月ぶりに前年を下回った。主力の製造業は4.8%減となった。〔実数による前年同月比では、教育、学習支援業（前年同月比48.6%増）等で前年を上回り、金融・保険業（前年同月比25.6%減）等で前年を下回った。〕

【預金・貸出金残高】

預金残高（3月末）は、1兆8,405億円（前年同月比0.7%増）と2か月ぶりに前年を上回り、**貸出金残高**（3月末）は、1兆1,967億円（前年同月比2.6%増）と7か月続いて前年を上回った。

○ 参考

- ・ **企業倒産**（4月）は、件数が7件で前年同月と同数で、負債総額は68億6,900万円で前年同月に比べて54億5,500万円増加（前年同月比385.8%増）した。
- ・ **消費者物価指数**（4月：鳥取市総合 平成12年＝100）は、97.7（前月比0.1%上昇、前年同月比0.6%下落）となり、前月比は2か月続いて上昇し、前年同月比は12か月続いて下落した。
- ・ **鳥取県の企業経営者の見通し**（主要300事業所、年4回調査）を平成18年5月調査で見ると、平成18年7～9月期は、前四半期（平成18年4～6月期）に比べると、景気、売上高はやや好調であるが、経常利益はやや不調の見通しとなっている。
- ・ **鳥取県景気動向指数**（3月）は、先行指数が1月43.8、2月37.5、3月50.0、一致指数が1月75.0、2月50.0、3月43.8、遅行指数が1月80.0、2月50.0、3月70.0となった。

統計情報の検索は、ホームページで簡単にできます。

鳥取県では、統計課以外でも各種の統計を作成し、公表しています。

この統計情報を検索できる統計総合ホームページ「とっとり統計ナビ」を下記のアドレスからご利用ください。

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>